

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2019 新春
vol. 22



歴史ある蔵の土壁の一部を、丸めて、乾かして、磨いて…色をつけたら、地球に戻りました。(蔵の改修 漆喰玉 古民家ろくすけ)

も く じ

<input type="checkbox"/> 一灯照隅	…2	<input type="checkbox"/> ろくすけ日和	…10
<input type="checkbox"/> 指定管理の現場から	…3	「ろくすけの思い出」	
<input type="checkbox"/> 9～11月の現場レポート	…4	<input type="checkbox"/> 千葉シニア自然大学	
・主催事業		「晩秋の南房総と星の観察会」	
・ネットワーク・受託事業		<input type="checkbox"/> みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業	…7	松田料理長のおすすめ	
<input type="checkbox"/> こんなことにチャレンジしています！		<input type="checkbox"/> 会員校・指定管理施設紹介	…12
<input type="checkbox"/> 1月～3月 CNS ネットワークイベント情報	…8	<input type="checkbox"/> スタッフのつぶやき	

一灯照隅

理事長 飯田 洋

皆さま明けましておめでとうございます。

昨年中は、千葉自然学校に対し、多大なご支援、ご協力をいただき心から御礼を申しあげます。

昨年一年、子どもからシニアまでの幅広い年代の方々に、海、山そして川でのプログラムを数多く実施して参りましたが、無事に年を越すことが出来ました。

これも偏に参加者の皆さまはじめ、お手伝い頂いたボランティアリーダーや、いろいろな場面で関わって頂いた方々のおかげと感謝しております。

新しい年の干支は、己亥（つちのとい）とのことで、60年に一度めぐって来る年です。

60年前の1959年を思い起こすとその年の代表する出来事は、皇太子様と美智子様のご成婚された年でした。

60年後の今年、その皇太子様が4月30日に天皇を退位され、5月1日からは新年号で新時代の幕が開くこととなります。

また、今年、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの直前の年となることから、活気ある日本が予想されます。

この様な時代の変化の中で、これからの千葉自然学校の進むべき方向性や、創立20周年を迎える2023年の時点での千葉自然学校の有るべき姿を、打ち出して行きたいと考えています。

「自然体験を通して、子どもからシニアまでの幅広い世代が元気に過ごし、地域の活性化に寄与する」との旗印を堅持すると共に、新時代の動きにも対応できる経営に、これまで以上に取り組みたいと考えています。

千葉自然学校の活動が、「世のため、人のため」になっていると言われるように、今年も一層の努力をしてまいります。

皆さま方には、これまで同様のご支援、ご協力を今後ともお願い申し上げます。



「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。
このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

「つながりと育ちの場 NEALリーダー養成講座」

NEAL（ニール）とはNature Experience Activity Leaderの略です。日本語では自然体験活動指導者と訳されます。講座で扱うテーマは、■人と人の相互理解の大切さを学ぶ ■人と自然の結びつきを学ぶ ■自然体験する際に必要な技術を学ぶ ■命を守る・助けるための知識と技術を学ぶ ■伝える・伝わるための自然解説技術を学ぶ などです。

これらを実技と座学を組み合わせ3日間で体験的に学ぶのが講座の特徴といえます。

参加者の受講動機も実に多様ですし、3日間の学びの場は新たな知識と技術を身につけて実にポジティブな雰囲気に包まれます。

そして、ここで出会った仲間とのつながりが、刺激を生み、さらなる成長を促しますし、実は我々運営スタッフも、この講座での人とのつながりが大きな財産となるのです。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉



「便利・快適をどこまで目指す？」

自然の家での活動の中心は、「不便を楽しむこと」だと思います。「カレーライスづくり」では、薪割りをし、マッチと新聞紙で火をおこします。森の中を歩く「オリエンテーリング」で使うものは、地図と解答用紙、時計だけです。日常の快適・便利な生活を抜け出して、不便な環境にいるからこそ、仲間と力を合わせたり、「生き抜く力」を育むことが出来ると考えています。

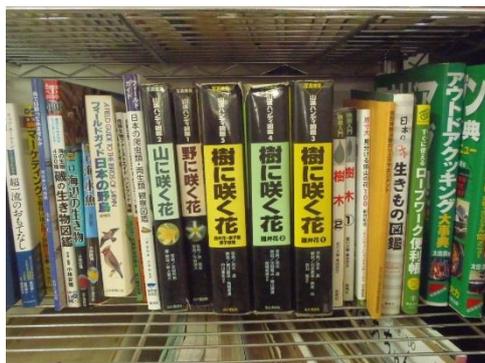
2018年で江戸時代が終わってから150年を迎えています。この150年の間に人々の生活はそれまでのゆるやかな発展とは比べものにならないほどに、急速に驚くべきスピードで進歩してきました。この後、未来はどうなっていくのでしょうか？今までと同様のスピードで科学技術の進歩が続いていったら…。

私自身、車で通勤し、スマホからは電話・メール以外の様々な情報を得ていますし、この原稿も職場のパソコンで入力しています。ただそれでも、人は「大地に根っこを張って、風や光とともに生きるのが幸せなんじゃないか」と考えています。今の自分の生活とはかなりギャップがありますが…。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 山口亮介

ここ数年、気付けば何かを調べる為に本を読む、という機会がぐっと減ったような気がします。社会人になりたての頃は、調べ事をするのに図書館に通ったものですが、今ではスマホやパソコンで何でもどこにいても調べられます。職場に置いている図鑑も、すっかりほこりをかぶっています。

スマホのアプリも進化が目覚ましく、魚や植物について、カメラで撮れば名前がわかるなんて機能も出ています。あと数年もすれば名前だけではなく「この花の特徴は…」なんて音声解説までしてくれるアプリも出てくるでしょう。（しかも渋い声や可愛い声など解説の声を選択ができるような）「自然について何でも知っている人」の価値は、スマホに取って代わられるのでしょうか？そんな時、自然ガイドもしている僕たちの需要はあるのでしょうか？機械に負けない自分の武器を、今からしっかり研いでおかなければなりません。



⑨⑩⑪月の現場レポート 《主催事業》

週末・こども

～スペシャルキャンプ①～ カヌー&フィッシング



9/15(土)～17(月祝) 亀山湖 君津亀山少年自然の家 小学生
◆カヌー/岸釣り/フラックバス釣り

カヌー体験では、亀山湖の自然に囲まれながらゆったりと自分のペースで楽しんでいました。船体を安定させるのに苦戦していた子どもも段々と操縦に慣れてきて、困っている班のお友達を助けてあげるような場面も見られました。

カヌーは、操縦のコツを掴むのが難しいのですが、身体の使い方やパドルのこぎ方など子どもの上達が早く、岸に戻ってくる頃には、達成感に満ちた顔つきになっていました。

毎年、大物が釣れている釣りキャンプ。釣りの仕掛けをきちんと理解し、エサも自分たちで頑張っつけられました。最初は怖がって付けられなかったミミスも、最終日には自分で付けられるになりました。自然相手なのでなかなか思うようにいかないのが釣りですが、時間がたつにつれて釣りの技術も上達し、2人1組で協力しながらどこに魚がいるかを友達同士で考えながら見事全員、魚を釣ることが出来ました。

2泊3日、自然の中でおもいきり遊び、仲間と協力しながら生活することで、初めて会った子ども同士の絆も深まりお友達もたくさん出来たと思います。このキャンプがみんなの貴重な経験、思い出となってくれば幸いです。

週末・こども

～茅葺屋根のろくすけ①～ 秋のお祭りと里山遊び



10/20(土)～21(日) 南房総市 古民家「ろくすけ」小学生
◆お祭り/餅投げ/野外炊飯/ぐるぐるパン

秋晴れの清々しい天気の中、2日間、南房総市の里山での生活をとことん楽しみました。

普段のお祭りでは中々見ることのできない、立派なお御輿や豪快な餅投げ、神様へのお祈り、地域一体となつての伝統的な祭事が子ども心に強く印象に残ったようです。実物を目の当たりにすると子どもの目はキラキラ輝きます。また、一人ひとり興味関心は様々で、「御輿の提灯の多さ」に驚く子や「地域の方が着ている半被の文字」が気になる子、とにかく「餅投げ」が楽しみな子、などなど。そんな感動や発見を共有するお友達がいることで、その体験をより濃いものにしてくれました。

里山に囲まれた古民家「ろくすけ」での生活は、畳と障子のお部屋や囲炉裏、羽釜や大きな神棚、生活に溶け込む珍しい物にはそれぞれ意味や昔の人の知恵があり、子どもには、古き良き日本の文化を知るきっかけとなりました。

今回携わっていただいた地域のお祭りの方や左官屋さんなど地域の方との出会いがキャンプをよりあたたかなものにしてくれました。

週末・こども

～イベントキャンプ①～ 森のハロウィンキャンプ



10/27(土)～28(日) 君津亀山少年自然の家 幼児・小学生
◆森の素材集め/仮装作り/ジャックオーランタン作り/ハロウィンパーティー

ハロウィンという外国の文化について、クイズを通して学びました。ハロウィンを毎年する子、初めてのハロウィンの子も一緒になって楽しく活動をしていました。

森の中で見つけた素材を使つての仮装作りではオリジナリティ溢れる作品が生まれました。ランタン作りではお友達とアイデアを出し合つて顔のデザインを決め、みんなで協力して一つのジャックオーランタンを作り上げました。夜には仮装してレッツハロウィンパーティー！館内に隠された文字を探して、暗号を解き明かしました。最後にみんなでお菓子パーティーを楽しみました。

また、キャンプ最後の特別プログラムとして、ハロウィンの夜の星空を『プラネタリウム』で観察しました。

一泊二日の短い期間でしたが、年長さんから高学年のみんなすぐに打ち解けて、終始とっても温かい雰囲気のカンパになりました。ハロウィンパーティーで使う衣装作りをはじめとし、ジャックオーランタン作りやおみやげのフォトフレーム作りなど、子どものアイデアや創造力が溢れていました。思い描いたものを表現・形にするこの楽しさを感じてくれたことと思います。

週末・こども

～釣りっこ!②～

がっつり ワカサギ釣りキャンプ



11/17(土)～18(日) 君津亀山少年自然の家 小学生

◆ワカサギ釣り/餌付け/素揚げ

ワカサギ釣りと言えば氷上での釣りを思い浮かべますが、比較的寒くない中でワカサギ釣りが楽しめる千葉県フィールドを生かしての今回の企画となりました。

初めて釣りの子もいましたが、今回は全員がワカサギを釣ることができました。

釣りキャンプでは、いつも魚と一対一の真剣勝負。釣れないこともあります。それでも釣りにチャレンジする子どもの姿勢を大事に、大人は背中を押して、いつもサポートしています。

餌付けが苦手だった子もみんなが挑戦する中で「自分もやってみよう!」と自ら挑戦する姿が見られました。釣りをするときは1人ですが、隣にいるお友達の存在は、喜びや大変さを分かち合う良きパートナー、時には良きライバルとなり、子どもはより生き生きと釣りをしています。

釣ったワカサギは、直ぐに素揚げ、天ぷらにさせていただきます。「かわいそう」という声があったのも、さっきまで元気に泳いでいた姿を知っているから。命を感じながら、大事に食べる様子が印象的でした。「おいしい!」とひと声、直ぐに竿をまた握ります。釣りの楽しさは、やっぱり釣れた瞬間、そして食べる時です。

そんな、子どもがチャレンジする瞬間や釣れた喜びを味わう瞬間、瞬間が今回のキャンプでも沢山生まれました。

日帰り・シニア

房総の古道を歩く!

浅間山から古久留里城・久留里城を巡る



11/10(土) 日帰り 君津市

◆坂畑/横尾番所跡/北向き地藏/久留里城

曇り空から晴天に恵まれた11月10日(土)。みなさんとともに、坂畑(君津市・亀山湖周辺)より久留里城を目指し楽しく歩いてきました。坂畑から古道入口まで林道をひたすら登ります。途中いくつもの素掘りのトンネルを抜ける道は変化がない林道歩きの良いスパイスです。

林道途中より横尾番所跡から蔵玉・清澄・天津に向かう古道を逆から入ります。あつという間の道のりですが、孟宗竹に覆われた番所跡に到着。生活の場であった平地が当時の生活を感じる場となっています。

この頃から晴れ間も望めるようになってきました。山道から道路に出たところでお弁当タイムとしました。

お腹もいっぱいになったことで出発。途中北向き地藏尊でお参りし、ゴールの久留里城に向け最後のひと登りを頑張ります。

久留里城で待っていたのは6月のコースで見たあの景色。いつもでも素晴らしい景観です。

2月は鴨川市四方木より清澄寺への古道巡りです。みなさまのご参加お待ちしております。

次回予告 2/23(土) 日帰り

【四方木より不動滝・道六番所跡を巡る古道より清澄寺へ】

週末・連休 自然体験プログラムご案内

冬 春スケジュール 参加者募集中!!

2019年1~3月のイベントの詳細は、チラシ、ホームページ・ブログにてご確認ください。

スペシャルキャンプ③～初めてをやってみよう!～ 2泊3日
施設泊
氷のワカサギ釣りキャンプ

2/9(土)～11(月祝) 施設泊 前橋市赤城少年自然の家
小学生 ◆ワカサギ釣り/とことん雪遊び/雪灯ろう作り

おもしろクッキング①～パンから作るぞ!～ 1泊2日
施設泊
ジャンボハンバーガー大作戦

おもしろクッキング②～夢の世界をつまみくい～ 1泊2日
施設泊
絵本のおかし作り

3/2(土)～3(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家
小学生・幼児 ◆フリン作り/ほくほくパン作り

1/26(土)～27(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家
小学生・幼児 ◆ジャンボハンバーガー/たき火料理

茅葺屋根のろくすけ②～古民家に泊まろう!～ 1泊2日
古民家泊
のんびり焚き火料理と里山あそび

スペシャルキャンプ④～森の中に隠れ家を作ろう!～ 2泊3日
施設泊
森の秘密基地キャンプ

2/2(土)～3(日) 古民家泊 南房総市 古民家「ろくすけ」
小学生 ◆古民家生活/たき火料理/里山あそび

3/25(月)～27(水) 施設泊 君津亀山少年自然の家
小学生 ◆森の素材集め/秘密基地作り・遊び

「ネットワーク・受託事業」

南房総市二地域居住推進事業

「“都市＋農村” 2地域居住体験ツアー」

「二地域居住」という言葉、耳にされたことのある方もいらっしゃるでしょうか。都市部に住む人が農山漁村などの地域にも同時に生活拠点を持つ暮らし方で、交通網やインターネット環境の整備が進んだ現在ならではのライフスタイルとして注目されています。

今年度、二地域居住を推進している南房総市の事業の一環で、古民家「ろくすけ」を拠点に2地域居住体験ツアーの企画運営を行っています。

11月に開催した1回目のツアーには2家族が参加され、里山の中でゆったりと過ごしていただきました。地域の人や暮らし、自然、食に触れ、南房総のファンになった方がまた南房総に足を運んでくれる。そうして交流人口が増え、関係人口が増え、地域がさらに魅力を増して、地域が強くなり元気になっていく。そのために私たちができることにこれからも取り組んでいきたいと思えます。



(文：佐藤玲子／かつを)

ネットワーク事業

「秋のお泊り ネットワークミーティング」

ネットワーク会議、初の試み。千葉自然学校会員校や理事の皆様との泊りでとことん話す場「秋のお泊りネットワークミーティング」を南房総市和田にある自然の宿「くすの木」で実施しました。設立当初の千葉自然学校ネットワークの在り方や状況が変化中、一度立ち止まり、現状を踏まえ、「これからのネットワークの未来」について膝を突き合わせ話すことが今、必要なのです。



会議では、対話の場を変化させる魔法の会議ツール「えんたくん」が活躍。今のネットワークについて思うことや、これからのネットワークの在り方について、活発な意見が飛び交いました。夜は日付が変わるまで情報交換が行われ、2日目は魅力ある3つのワークショップが展開されました。

縁あって繋がったこのネットワーク。同じ思いを持つ魅力ある仲間存在を再確認し、新たなネットワークの在り方について、はじめの一歩に繋がる貴重な会になりました。

(文：谷慶子／けろっぴ)

参加者が円座になり、ひざの上に「えんたくん」をのせ、対話の内容を文字で落とし込んでいきます。

※えんたくん…直径1メートルほどの丸い段ボールの板。

千葉県立中央博物館ミュージアムショップ

「恐竜ミュージアム in ちば」

平成30年度の夏の特別展は「恐竜ミュージアム in ちば」！子どもだけでなく大人にも大人気な恐竜をテーマに、「マイアサウル」や「カマラサウルス」の実物全身骨格の展示のほか、迫力のある標本や、森本はつえ先生による恐竜まんが教室、「恐竜くん」のトークショーなど、さまざまな催しのおかげで大盛況に終わりました。

ミュージアムショップでも恐竜フィギュアや化石、恐竜に関する書籍をたくさん仕入れ、恐竜好きのお客様に連日お越しいただきました。

やはり一番人気は「ティラノサウルス」。安定の知名度ナンバーワンでしたが、丁度ジュラシックワールドの映画があったので、「ブルー」ことヴェロキラプトルも人気でした。

長いカタカナの恐竜の名前をすらすらと唱える小さなお子様に驚きつつ、改めて今はもう絶滅して存在しない古生物のロマンに対する根強い人気を感じました。



(文：石井智子／かみい)

■こんな取り組みもしています■

表彰されました♪

開園5年目の体験農園の活動が、毎日新聞社の毎日農業記録賞に！また、古民家ろくすけを拠点にした平群ツーリズム協議会の活動が、関東農政局内優良事例・ディスカバー農山漁村の宝として表彰されました♪これを励みに今後も邁進していこうと思えます！

《 指定管理施設の主催事業 》

南房総市大房岬自然の家

「海岸線を突き進む!!穴釣りシーサイドウォーク」

小型のリール竿を使って、磯場のロックフィッシュ（カサゴなどの根魚）を狙います。ロックフィッシュが隠れているような場所を如何に多く探るかが釣果を上げるポイントです。棲みついていてポイントに落とすことができれば、魚がガブッと食らいつき、ググッと強い引きが！これぞ穴釣りの醍醐味です。

海岸線を移動しながら皆さん果敢に磯場を攻め釣りしました。アクションしながら、アグレッシブに探る釣りなので皆さん休憩するのも忘れてひたすら釣りに夢中。

その甲斐あって、カサゴ、ソイ、ベラ、ハゼなどが釣れ、釣果もまずまず。30cm程の大型も釣れましたよ♪

普段あまり人が行かない海岸線の磯場を攻めたので、いろんな魚や生き物の姿も濃かったですね。天気も海況も良く絶好の穴釣り日和。水も透き通り、美しい海辺の景色も堪能できました。やっぱり海岸線を攻めながら釣る『穴釣り』は面白いものです。

(文：香山正幸/かやまん)



千葉県立大房岬自然公園

「日帰りキャンプ教室 森の遊び場づくり」

11月24日(土)、3連休の真真中で主催事業「日帰りキャンプ教室 森の遊び場づくり」を実施しました。こちらは同様の企画が昨年もあったのですが、中止となってしまい、一年越しによりやく実施となった主催です。

会場は展望塔の周りの森の中。集まった参加者に最初は簡単なロープワークのレクチャー。それが終わったらそのロープワークを使って家族ごとにターザンロープやブランコを設置してもらいます。意外と簡単にできて、それでいてしっかりしたものができるので参加者(特に子ども)は大喜び。ひとしきり遊んだあとは皆で力を合わせてパラレルロープの設置。



滑車の原理を使ったロープワークで作るので、しっかりピンと張ったものが作れました。最初は何もなかった森の中でしたが、ロープがあるだけであつというまに楽しい遊び場に変身。寒い日でしたが子どもの歓声が森の中に響き渡っていました。

(文：山口亮介/こめ)



千葉県立君津亀山少年自然の家

「100人 de スーパー運動会」

11月23日(金・祝)に「100人 de スーパー運動会」を実施しました。赤、白、黄色、青の色別対抗戦で子どもの部、大人の部に分かれて白熱の戦いが繰り広げられました。競技は、「スーパー障害物レース選手権」「スーパー芝すべり選手権」「スーパー綱引き選手権」の3種目。

障害物レースはお玉にビー玉を乗せてバランスを取りながらゴール地点まで行けばクリア!不安定な足場も集中力を発揮して取り組んでいました。芝すべりは、とにかく段ボールで芝生を最速ですべります!身体を少しひねったり、重心を変えてみたりとコツを少しずつ掴みながら全力ですべてしていました。

最後の競技は勝敗を決する、綱引き選手権!子どもも大人もチームが結束して、引っ張られたら引っ張り返し最後まであきらめずに戦ってくれました。

今回の優勝は、黄色チームでした!

どの組も当日初めて顔を合わせたのですが、結束力を出し尽くして全力で頑張っていました。

(文：工藤圭/しんちゃん)

こんなことにチャレンジしています!

「古民家ろくすけのにぎわい」

南房総市平久里の「ろくすけ」でも鹿の鳴き声が聞こえるようになりました。

「キーン」という鳴き声はほんの一瞬で、「...声聞くとときぞ秋は悲しき」など風情に感じ入るより「どうか来ないで」と願う気持ちです。

11月中下旬から12月上旬にかけて「ろくすけ」は大賑わいでした。

流山高校生の応援やイベント開催も含めた「ろくすけの会」主催の大豆の収穫・脱穀、宿泊して平久里暮らしを楽しむ家族の受け入れ、ミカン農家のお手伝いプログラムもある子どものホームステイ、平群ハイキング、郷土料理を楽しむ「揚げ重パーティー」そして土蔵改修の壁塗りのお手伝い…と。

うれしいことに、そこにはいつも訪れる人、迎える地元の人やスタッフの笑顔があり、新たなつながりが生まれていることです。

古いまま、不都合なところだけを補修した「ろくすけ」は決して立派な建物ではなく、あちこちで行われている古民家再生とは別のもの。

この家の魅力は何だろう、何を魅力ととらえてもらえるだろうとお客様の様子を見ながら探しています。

子どもは、気兼ねなく家の中を駆け巡っています。いつの間にかみんな仲良しになり遊んでいます。庭に出て竹で弓矢を作ったり、虫を探したり、大人たちはいろいろを囲んで談笑、散策したり…ついには洗濯機を回して庭一杯に洗濯物が干されました。

まさに、参加者にとってろくすけでの暮らしが日常化しているということ。自宅のほかに、もう一軒の楽しめる家ができたと感じます。

ほっとしたいときに家族や仲間であつろぐ家、地元の人たちとも立ち話ができる地域…そんな場所になればいいのかなと思っています。

皆様のご意見もお聞かせください。

(文：遠藤陽子/サニー)



CNS ネットワーク ①②③月のイベント情報



1月

目指せ！嶺岡大塚山

青龍権現の古碑が祀られる中塚山、房総の秘峰嶺岡大塚山、馬ノ背をぐるりと歩きます。古道標、嶺岡牧野場土手にも寄り道の約10km。やや健脚向け。

【開催日】1月23日（水）

【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,300円

※森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額

【会場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森

TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

レンガ造りの窯でパン作りに挑戦！

パン作りに挑戦してみましょう。生地作りから始め、こねた生地をレンガの窯で焼きます。自作の焼きたてパンの味は最高です。スープと共に召し上がれ！

【開催日】1月26日（土）

【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,200円

【会場】館山野鳥の森（館山市）

【連絡先】館山野鳥の森

TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

ジャンボハンバーガー大作戦

顔よりも大きいビッグなビックリハンバーガーをつくろう！まずは生地をこねて、発酵させて、焼き上げて…パンの完成！次はお肉をこねて、焼いてパンにはさめば、ジャンボハンバーガーの出来上がり！ファーストフードの代名詞「ハンバーガー」が手間ひまかけたスローフードに大変身！！

【開催日】1月26日（土）～27日（日）

【対象】年中～年長、小学生

【参加費】16,000円（一般）、13,000円（会員）

【会場】千葉県立君津亀山少年自然の家（君津市）

【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター

TEL：043-224-1400 FAX：043-202-7237

E-mail：cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

夜の鴨川シーワールド探検

海の生き物好きあつまれ～！水族館の裏側や閉園後の探検、そして水そう前でのお泊りなどめったにできないことばかり。ごはんは、ピュッフエスタイル！マリンシアターがリニューアル★今年のふれあい体験は「ペルーガタッチ」とおすすめポイントも盛りだくさんです♪

子どもコースと親子コースがあります。

【開催日】1月26日（土）～27日（日）

【対象】①子どもコース：小学生

②親子コース：小学生以上の親子2名～

【参加費】①会員 22,800円、一般 25,800円

②会員 大人 23,800円、子ども 21,800円

一般 大人 26,800円、子ども 24,800円

※往復交通費・2日分の入園料・ペルーガタッチ体験料・宿泊体験料・食費（26日夕食～27日昼食まで）・シーワールド記念写真料金・プログラム費含む

【会場】鴨川シーワールド（鴨川市）

【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター

TEL：043-307-1211 FAX：043-202-7237

E-mail：yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp



2月

クラフトバンドを使った小物作り Part2

クラフトバンドを使って手作りの小物を作ります。インテリアや贈り物にもご利用いただけます。

【開催日】2月9日（土）

【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,000円

【会場】館山野鳥の森（館山市）

【連絡先】館山野鳥の森

TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

氷のワカサギ釣りキャンプ

新企画！氷のはった赤城山の大雪でワカサギ釣りにチャレンジ！！氷に穴をあけて、釣り糸をたらして…釣ったワカサギはもちろん「天ぷら！」美味しくいただきます。また雪あそびも思いっきり楽しめます。雪合戦をしたり、雪灯ろうをつくったり、今年の冬は赤城にレッツゴー！

【日程】2月9日（土）～11日（月祝）

【参加費】43,000円（一般）、40,000円（会員）

【対象】小学生

【場所】群馬県前橋市赤城少年自然の家（施設泊）

【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター

TEL：043-224-1400 FAX：043-202-7237

E-mail：cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

ホームステイ～立春編～

「もっとろくすけで遊びたい！」そんな子どもの声にこたえて、2月も遊んじゃいますよ～！「べったんべったん、おもちつき大会」「囲炉裏やたき火でお餅を焼こう」「里山やりたいこと遊び」などもりだくさんな2日間★

【開催日】2月9日（土）～10日（日）

【対象】小学生・中学生1～2年生

【参加費】16,800円（一般）、13,800円（会員）

【会場】古民家ろくすけ（南房総市）

【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター

TEL：043-307-1211 FAX：043-202-7237

E-mail：yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp

ピザ作りに挑戦！

フランスパン用の小麦粉を使った生地を捏ねて伸ばして、トッピングを乗せたら焼くこと数分、熱々のピザでランチタイムです。（生地の発酵1時間を含む）

【開催日】2月24日（日）

【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,400円

※森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額

【会場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森

TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822





3月

簡単！燻製作り体験

ダンボール箱や焼き網を使って簡単な燻製作りに挑戦しよう。温燻（おんくん）で作る玉子、チーズ、ベーコンなど、できたての味と香りを楽しめます。

- 【開催日】3月2日（土）
- 【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】1,600円
- 【会場】館山野鳥の森（館山市）
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

絵本のおかし作り

絵本に出てくるお菓子を自分たちで作ってみよう！！絵本に出てくる美味しそうな「お菓子」。誰でも本を読みながら「食べてみたいなあ」と思ったことはあるはず♪そんなお菓子を自分たちで作って、食べちゃおう！さあ、絵本の世界へ出かけよう！！

- 【開催日】3月2日（土）～3日（日）
- 【対象】年中～年長、小学生
- 【参加費】16,000円（一般）、13,000円（会員）
- 【会場】君津亀山少年自然の家（施設泊）
- 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
- TEL：043-224-1400 FAX：043-202-7237
- E-mail：cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

早春ハイク烏帽子山から初日山

坂本地区から→向峯歩道（硯石・烏帽子山）→麻綿原初日山まで約9mのハイキング。やや健脚向け。ヘルメット着用。

- 【開催日】3月5日（火）
- 【対象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】1,300円
- ※森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額
- 【会場】内浦山県民の森（鴨川市）
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

流木アートを作ろう！

海や川で拾った流木を活かして、流木アートを庭やお部屋に飾ってみませんか。自分だけのオシャレなインテリアを作ってみましょう。

- 【開催日】3月16日（土）
- 【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
- 【参加費】1,600円
- 【会場】館山野鳥の森（館山市）
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

森の秘密基地キャンプ

みんなで力を合わせて、スケールのでっかい工作だ！森の中は材料の宝庫。竹や落ち葉、丸太、枯れ枝を集めて、切って、結んで、組み立てて…。出来上がった秘密基地で何して遊ぶ？みんなのアイデアの数だけ遊びがたくさん！3日間とことん作って、遊ぼう！！

- 【開催日】3月25日（月）～27日（水）
- 【対象】小学生
- 【参加費】29,000円（一般）、26,000円（会員）
- 【会場】君津亀山少年自然の家（施設泊）
- 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
- TEL：043-224-1400 FAX：043-202-7237
- E-mail：cns-camp@aroma.ocn.ne.jp



1月～3月

手作り味噌教室

地元の新大豆とコシヒカリの麴を原料に、無添加で本物の味噌を作る寒仕込み教室です。生きた麴を一年間かけて熟成させて出来上がります。一日で一年分のお味噌が作れます。追加オプションでお昼に石釜で焼くピザが食べられます♪

- 【開催日】1月～3月（繰り返し開催。日程はホームページでご確認ください）
- 【参加費】1回2,500円（味噌3kg、追加1kg800円）
- ※ピザ1枚 1,000円（7日前までにご予約下さい。）
- 【申込締切】7日前（要予約）
- 【定員】20名程度
- 【持ち物】割烹着（エプロン）・三角巾・持ち帰る味噌の容器・タオル・ゴム手袋・マスク
- 【会場】「わたしの田舎」谷当工房（千葉市）
- 【連絡先】「わたしの田舎」谷当工房
- TEL & FAX：043-239-0645
- E-mail：yatoukoubou@gmail.com
- URL：http://satoyamaasobi.com/

新幹線で行こう！GO！GO！スキートレイン

ラクラク移動！渋滞なし！時間いっぱい、スキーレッスン。スキーが初めての子どもから初級・中級者まで楽しめるコース設置。ブルークボーゲン（ハの字）が完成したら、ロープウェイに乗って頂上からロングコース（最長5.5km）にチャレンジしよう。アフタースキーの楽しみは、南魚沼のコシヒカリの美味しいご飯！

- 【開催日】①1月18日（金）～20日（日）
- ②2月15日（金）～17日（日）
- 【対象】小学生
- 【参加費】40,800円（一般）、39,800円（会員）
- ※往復交通費・食費（朝2昼2夕1）・宿泊費・プログラム費含む
- ※レンタル代は含まれません
- ※八海山スキー場は、小学生までのリフト代が無料！
- 【会場】新潟県南魚沼市「六日町 八海山スキー場」
- 【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター
- TEL：043-307-1211 FAX：043-202-7237
- E-mail：yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp

沖合オットセイ・イルカウォッチング

オットセイは、優雅に波に漂っているのでじっくりと様子を見ることができます。海から顔をのぞかせる、オットセイの愛らしい姿と同時にこの時期早々とカマイルカの先頭集団も回遊してきます。

- ★遭遇できる生き物★キタオットセイ・カマイルカ・ハナゴンドウ・コビレゴンドウなど。
- 【開催日】2月～3月
- 【所要時間】3～4時間
- 【出航時間】1回運航 10：30～
- 【料金】大人7,000円（高校生以上）小人5,500円
- （小・中学生）※小学生未満はご乗船はできません。
- 【会場】銚子海洋研究所（銚子市）
- 【連絡先】有限会社 銚子海洋研究所
- TEL：0479-24-8870

★他にも楽しいイベントもりだくさん！

Webをチェック！ 検索



● ろくすけ日和 『ろくすけの思い出』

千葉自然学校では、築190年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

今年は暖冬の影響か、ろくすけでも暖かく過ごしやすい日が続いています。みなさまの住んでいる地域でも桜が咲くなど例年と違った自然の変化がありますでしょうか。

ろくすけ住人だいすけより、この度ご報告があります。茅葺屋根の修繕に伴い11月をもってろくすけから引っ越しをしました。実に4年半もの月日を平群で、ろくすけで過ごさせていただきありがとうございました。

ろくすけで暮らしたこの期間は「人」に助けられたと思います。一番は地域の皆様に助けられました。よそ者の私にも「困っていることはないか？」と声をかけてくれたお父さん、玄関に野菜やお弁当を用意してくれたお母さん、平群の祭礼に参加させてくれた青年会の皆さん。最初は地域に知り合いは一人もいなかったのに、心の支えとなりました。大人だけでなく子どもとの出会いもありました。地元のイベントでは平群の子も参加してくれたので会う機会も多く、地域の自然や遊び方を知っているのでもいろいろと勉強になりました。会えば「だいすけー！」と声をかけてもらい、すっかり顔なじみになりました。また、ろくすけで開催された様々なイベント、キャンプを通してたくさんの方とお会い出来たのもうれしかったです。

思い出は山ほどありますが、とりあえず私のろくすけでの活動報告は今号で終了になります。ろくすけからは離れますが、イベントでは度々出現するかと思います。お会いできたら声をかけていただくと嬉しいです。

ろくすけでは今年もスイセンが咲き始めました。夏ミカンも黄色く色づいています。空気の澄んだ季節がやってくるので、夜は星がきれいに見えます。平群に長く続いている日常の風景をぜひ見に来てください。またろくすけでお会いしましょう！

(文：かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地/だいすけ)



初めて来た日のろくすけ

● 千葉シニア自然大学

「晩秋の南房総と星の観察会～シニア自然大学7期生 秋の宿泊研修～」

千葉シニア自然大学の基礎コース7期生の秋の宿泊研修旅行は、11月29日(木)～30日(金)の2日にかけて、南房総を舞台に実施されました。

参加者は15名とややさびしい感はありましたが、2日も好天に恵まれ、心に残る旅となりました。

1日目は、君津駅よりバスで一路鴨川に向かいました。今年は台風の影響で紅葉もいつもの素晴らしさは見られませんが、それでもところどころに充分晩秋の気配を味わいながら大山千枚田に着きました。

保存会の石田理事長から運営の目的、苦労話などをお聞きしましたが、棚田の経営だけでなく、地域の活性化に向け地元の資源を活かしながら、様々な事業に取り組んでおられることに感銘を受けました。

次に訪れたのは平久里の「ろくすけ」。ここは千葉自然学校が運営する築190年の古民家を中心にした都会と田舎を結ぶ交流の拠点です。米、野菜、全て地元の素材を活かした昼食を堪能し、松本先生の案内で、里見八犬伝のモデルとなった安房の里見氏の史跡を巡りました。

これまでの6年間、高梨先生の指導のもと自ら作成した望遠鏡で星を観察すべく、小諸、赤城、南房総和田と宿泊地を変えてきましたが、生憎の天候で一度も星を見ることはできませんでした。しかし、今年の宿泊地、大房岬自然の家では、とうとう思いがけないアンドロメダ星雲やカシオペアの群星、スバルといった沢山の星を、先生の100

倍の望遠鏡で見つけることができました。誰かさんは「今夜このまま屋上にふとんを敷いて朝まで寝たい」などと言っていたほどでした。

翌日は館山の誇る文化資産、明治の画家・青木繁の「海の幸記念館」「布良崎神社」を訪ね、あゆどの浜に出て正面に大島を望む雄大な海の景色と、潮の文化を満喫しました。

最後は鏡ヶ浦の向こうに霊峰富士山を仰ぐ県内最古の磨崖仏をもつ那古の崖観音にお参りし、帰宅の途に着きました。(文：小谷賢彦 写真：吉岡章次)



みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの料理のお話～

「ろくすけ」で作ったお味噌が好評です。材料は大豆と麴と精製塩。半年、土蔵で寝かせたお味噌は、しゃもじを入れると、ふわーと柔らかくきれいな山吹色をしています。

昆布や煮干しのだしだけで優しい味の味噌汁ができます。練り味噌にしてもおいしいです。

大豆は、周りの畑で栽培しています。枝豆で食べ、収穫したての大豆を新豆として食べ、そして乾燥してみそ用に使い…大豆のおいしさを改めて実感しています。

暮れに教えてもらった豆腐プリンをご紹介します。濃縮された味で介護食にも利用できます。

(文：遠藤陽子／サニー)

<豆腐プリン>

【材料】

- ・絹ごし豆腐…150g
- ・豆乳 …200cc
- ・砂糖 …50g
- ・粉ゼラチン…5g
- ・水（ゼラチンを溶かす）…大さじ2

【作り方】

- ①豆腐、豆乳、砂糖をミキサーにかけ滑らかにする。
- ②大き目のボールに粉ゼラチンを水でといておく。
- ③ ①を鍋に入れ火にかけて60℃程度に温める。
- ④よく混ぜながら②のゼラチンに③を加える。
- ⑤型に流し冷やして固める。



松田料理長のおすすめ～いろいろな炊き込みご飯～

今回は、いろいろな炊き込みご飯を紹介していきたいと思います。

◎蟹の炊き込みご飯

前日に昆布を入れた水を作って置きます。その水から昆布を取り出して、塩と酒を入れて吸い地より少し濃い目で味付けをして出汁を作ります。生姜の刻んだものとお米をその出汁で炊き上げます。炊き上がったご飯にボイルした蟹をのせて蒸し上がったら出来上がりです。

◎グリーンピースご飯

グリーンピースを鞘から剥いて、水に塩と酒を入れて吸い地より少し濃い目の味付けをして出汁を作り、昆布とグリーンピースを入れてお米を炊き上げたら出来上がりです。栗ご飯も同様で出来上がります。

◎浅利ご飯

ボイルした浅利を殻から外したものと、千切りにした生姜を吸い地で煮てからざるに上げておきます。出汁20・淡口醤油1・味醂0.5・酒0.5の地でお米と先ほどの浅利と生姜を入れて炊いたら出来上がりです。

◎きのこご飯

鶏肉を5gぐらいに切り、椎茸・しめじ・舞茸・油揚げを刻んで、全てをボイルして出汁8・濃口醤油1・味醂1・砂糖少量と煮て冷まします。出汁13・淡口醤油1・味醂1・酒少量の地で先ほど冷まして置いた具とお米を炊き上げたら出来上がりです。筍ご飯も鶏肉を外せば同様で出来上がります。

◎枝豆ご飯

枝豆はたっぷりのお湯で軟らかめに茹でて殻から外します。この時に食感もよくするために薄皮も外します。お米を普通に炊いてから、ご飯に塩で味をつけて先ほどの枝豆を混ぜて出来上がりです。

●団体会員（35団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、(株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団、「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校、NPO 法人安房文化遺産フォーラム、(株)かずさアカデミアパーク、食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、ぬく森くらぶ、自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock(ライブストック)、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校、NPO 法人里山会(勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ、NPO 法人ちば里山センター、ELFIN 体験共育くらぶ、NPO 法人千葉・草原のこころファーム、(一社)森のようちえんはっぴー、環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団、(有)銚子海洋研究所、東京クラシッククラブ、ワイズスノー&アウトドアスクール、みらい seeds

●賛助会員（6団体）

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー、株式会社富楽里とみやま、株式会社HMC 東京 旅行事業部、スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬自然の家(千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月)
(南房総市の施設として平成20年4月～)
- ・千葉県立大房岬自然公園(平成18年4月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家(平成20年4月～)



千葉県立大房岬自然公園



南房総市大房岬自然の家



千葉県立君津亀山少年自然の家

運営施設

- ・かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」(平成16年5月～)
- ・千葉県立中央博物館ミュージアムショップ(平成26年4月～)

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

■ここ7年ほど年末には千葉県立君津亀山少年自然の家で、我が家の神棚に飾る注連縄づくりを体験しています。師匠のM氏の流れるような手さばきに比べ何年たっても難しい「左なえ」ですが、手作りの正月飾りは燦然として我が家の玄関や神棚を飾っています。今年も毎朝、家族や千葉自然学校が何事もなく日々過ごせますようにと手を合わせます。(オーシャン)

■いのししが暴れませんように！(サニー)

■イノシシの如き、何事にも突進する勇氣と氣力と体力ある年でありますように。(ボクサー)

■世の中は矛盾だらけ。困らないから世界は人ごと。後、何年経てば皆同じ方向を向くのだろう。(ぺったん)

■年度初めの4月と年初めの1月、1年に2回、気が引き締まります。(たこはち)

■竹には節がある。だから面白い。節目節目を大切に、竹のように、たおやかに。全てを面白がる年に。(けるっぴ)

■2018は与えてもらうことの多い1年でした。2019は恩返しのに。(かつ)

■キャンプ場のイチョウの木が、ここにきて急速に成長していると感じる。長い目でみると必ず変化が見えます。教育も一緒なのだろう。(のりべん)

■2019年は体調管理を心がけながら、覚悟を決めてチャレンジする年に。(らうす)

■職場の上司に連れていってもらったことをきっかけに、山登りとサーフィンが趣味になりました。今年も人のご縁とチャレンジ精神を大切に。(さぼてん)

≪編集後記≫
自然学校創立の頃より働いてきましたが、ここで一旦産休・育休に入らせていただきます。たくさん方々に長らく大変お世話になりました。また復帰の際には宜しく申し上げます！(かみい)

認定NPO法人を目指して～ご寄付お願い～
寄付金額が3,000円以上である寄付者様を募集しています。当法人の活動にご理解、ご支援いただける方はぜひご支援ください。
▼振込先(郵便局)▼
【郵便振替口座番号】00170-5-259431
【加入者名】特定非営利活動法人 千葉自然学校
▼振込先(銀行)▼
千葉銀行 千葉駅前支店 普通 3740275
特定非営利活動法人 千葉自然学校
【寄付金額】3,000円より
※領収書を発行いたしますので、お名前、ご住所、ご連絡先を必ずご記入ください。

発行： NPO法人 千葉自然学校

千葉自然学校ニュースレター(年4回発行)

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

